

Q：下大和駅北側の公園のイメージ図について、広場にシンボルツリーはいらぬという意見を出したが反映されていない。近くに盆踊りをするような広い場所がないのに、今のイメージのままではイベントなどを行うことは難しい。

A：みなさんに説明しているものは最終案ではないため、検討したい。また、公園の整備をするときには、改めて公園の活用などについてワークショップ等を行い、地域のニーズを聞く予定である。

■今後の課題と推進体制について

Q：推進体制イメージを見ると市・市民・西鉄の三者で協議できる体制としてほしい。

A：示している体制はあくまでイメージを載せている。もちろん、今後もこのような意見交換の場は持っていきたいと考えている。

Q：この基本計画はどのような扱いになるのか。市が作成する計画になるのか、市民の意見はこうでしたという報告書になるのか。

A：市が作成した基本計画の案として、西鉄をはじめとした関係者に提案・協議を行いながら、基本計画（案）から基本計画とする。期間としては2年はかかると思う。関係者との協議等を進めていく際の拠り所となるものとして考えている。

Q：しみん会議は今後どうなるのか。

A：今のしみん会議はこれで終了となるが、形を変えて今後もみなさんの意見を聞かせていただきたいと考えている。



●まとめ

全7回にわたるワークショップへご参加いただき、誠にありがとうございました。今後、皆様からいただいた意見や各関係者との協議・検討により取りまとめられた基本計画（案）ができあがる予定です。

次年度以降も本計画の策定等はつづいていきます。今後も、実現に向けてより良いものとしていくために、各関係者との詳細な協議・検討を行っていくとともに、市民の皆様にもご協力をお願いしたいと思いますので、よろしくお祈りいたします。貴重な時間の中、長きにわたりしみん会議ワークショップにご参加いただき、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

しみん会議

ワークショップニュース 7号



第7回ワークショップ

テーマ：高架下まちづくり計画素案の報告

日時：平成28年2月20日（土）10:00～12:00

場所：大野城市役所 311・312 会議室

これまで2年間行ったしみん会議は、この第7回が最終回となりました。

会議では、これまで皆様からいただいた意見等をまとめた内容について報告を行い、意見交換を行いました。

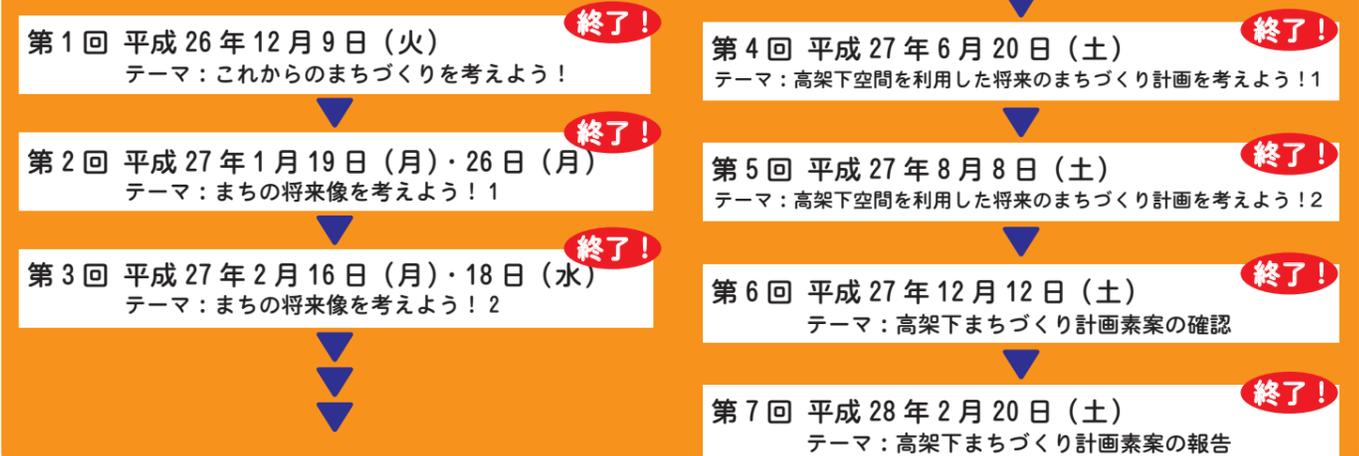
第7回プログラム

09:45	受付
10:00	開会あいさつ
10:15	高架下まちづくり計画素案の説明 質疑応答
11:40	事務連絡等
12:00	閉会

●第7回 しみん会議参加者アンケートより（一部抜粋）

- ・参加した会議での意見は反映されている。
- ・7回の内1回ぐらいは西鉄の方とも話し合いが出来たらよかったです。
- ・何十年かに一度のチャンス、大事に取り組んで下さい。「理念」こそ大事。
- ・高架下の利用計画等、かなり精度が上昇して来たのではないかと思います。
- ・基本計画の中に「子育て世代にやさしいまちづくり」のような言葉を入れてほしい。
- ・十人十色のご意見があることを改めて確認しました。
- ・基本計画なので、これはこれでとても良かったと思う。
- ・意見を出し合っているとつい具体性や回答を求めてしまうので、会を進めていく中で建設側の進捗説明や私たちが決定できることは何か示してほしい。
- ・これで終わりではなくこれからも市民として参加ができるとのこと安心しました。

●しみん会議のスケジュール



第7回 しみん会議 議事要旨

日時：平成28年2月20日（土）10：00～12：00

場所：大野城市役所 311・312 会議室

■基本理念・基本方針に関して

Q：下大利駅から南側で高架は下がっていくが、高架下空間として使える場所はあるのか。どこで地面と同じ高さになるのか。

A：御笠川の手前で地面と同じ高さとなる。また、平田川の手前（北側）まで人が通ることのできる高さを確保できる。なお、道路構造令で示される車が通行できる高さは確保できない。高架下の活用としては、水城につなげるようなオープンスペース・公園や遊歩道などを考えている。

■まちづくりビジョンについて

Q：以前のしみん会議で歩道橋のように道路の上を歩いて、春日原駅北側の高架下から春日原駅に直接行けるようにしてほしいと意見を出したが、反映されていない。

A：そのような意見があったことは把握しており、検討は行っている。駅の構造的な面で可能か不可能かなどを確認しながら、検討を進めていきたい。検討の結果、物理的に不可能となることもあるので、そこは理解していただきたい。

Q：白木原下大利線について、以前のしみん会議でWi-Fi環境を整えてほしいと言ったが、反映されていない。

A：計画書素案に具体的に記載していないが、意見があったことは把握しており、記録も残している。市には他の計画等もあるので、そちらで盛り込まれていくと考えている。

Q：白木原駅から下大利駅にかけて、高架下を横断する通路があるが車は通行できるのか。線路の東側から中央コミュニティセンターへの避難路となるため、車両の通行幅は確保してほしい。

A：車の通行を前提としているので幅員は確保する。また、避難路についての意見は当初から把握しているので考慮している。

Q：下大利南ヶ丘線から国道3号線に出るまで渋滞が引き起こされているが、高架後街路が整備されたときの交通体系はどうなるのか。渋滞は緩和されるのか。

A：街路が完成したときには、渋滞は緩和されると考えている。

Q：現在下大利商店街を通っているバスの路線は将来的にどうなるのか。また、変更するとしたら、時期はいつになるのか。

A：現在は下大利駅西口にバスが接続しているが、高架後は下大利駅の東口に接続する予定となっている。また、商店街を通行しているルートから下大利南ヶ丘線を通るルートに変更する。

西口から東口への変更時期は、平成33年度に高架事業が完了し、それから駅前の整備等を行うので、平成35～36年度ごろではないかと考えている。ただし、現在の商店街を通るルートは、道路の幅員が狭く、歩行者にとって安全とは言えないので、現在の西口への接続のままルートを下大利南ヶ丘線へと移行できるように、西鉄（バス部門）や警察との協議を行っている。

Q：白木原駅から下大利駅までの高架下に入る店舗は、商店街のように店舗を向かい合わせて配置しなくてよいのか。店舗が片側しかないところで繁栄しているところは見ることがない。

A：全国的にこのようなまちなみを形成している事例はあるので、大野城市としていかにこの場所を活用するか研究していきたい。また、店舗だけで人を集めるのではなく、オープンスペースや若者が集まるような場など、様々な要素で人を集めることを目指していきたい。みなさんが活用することで、まちがにぎわっていくので、にぎわいづくりのために協力していただきたい。

Q：白木原駅から下大利駅までの流れを考えると、下大利駅北側の高架下が駐輪場だけになっているので分断されているように感じる。

A：確かに分断されたようなイメージになるため、白木原駅から下大利駅まで一体的な空間となるよう、もう少し検討を重ねていきたい。

Q：下大利駅南側について、高架下を車で横断できるようにしてほしい。

A：人が横断できる箇所は計画しているが、車は難しい。道路構造令での高さの制限や、高架の柱の問題で、スペースを確保できるかが問題となる。

Q：下大利歩行者専用道路を水城までつなげてもらいたい。また、東大利歩行者専用道路は下大利団地横の遊歩道までつながるのか。

A：下大利歩行者専用道路の終点部では、水城に関連する広場等の文化財を所管する部署が整備すると聞いており、水城までつながるものと考えている。また、東大利歩行者専用道路は遊歩道につなぐ整備を予定している。

■空間整備計画について

Q：断面イメージ図を見ると、高架の外側に歩道を整備するようになっているが、高架下にはできないのか。

A：高架下空間に歩道を設置した場合、柱と歩道を除くと、店舗等として有効に活用できる幅は約6mとなり、使い勝手が悪くなってしまう。高架下に歩道を設けるという可能性は残しつつ、より高架下空間を有効に活用するために、高架の外側に歩道を設けることを考えた。また、高架下空間のすぐ外側を車が通るのは危ないと思うので、その緩衝帯としても必要ではないかと思う。